ほくと みんなのぎかい

2026.11.1
88号
リニューアルしました

中学統合先進地を視察







第3回定例会（9月）
山梨県北杜市議会

議会をもっと身近に

最新号・バックナンバーを掲載中

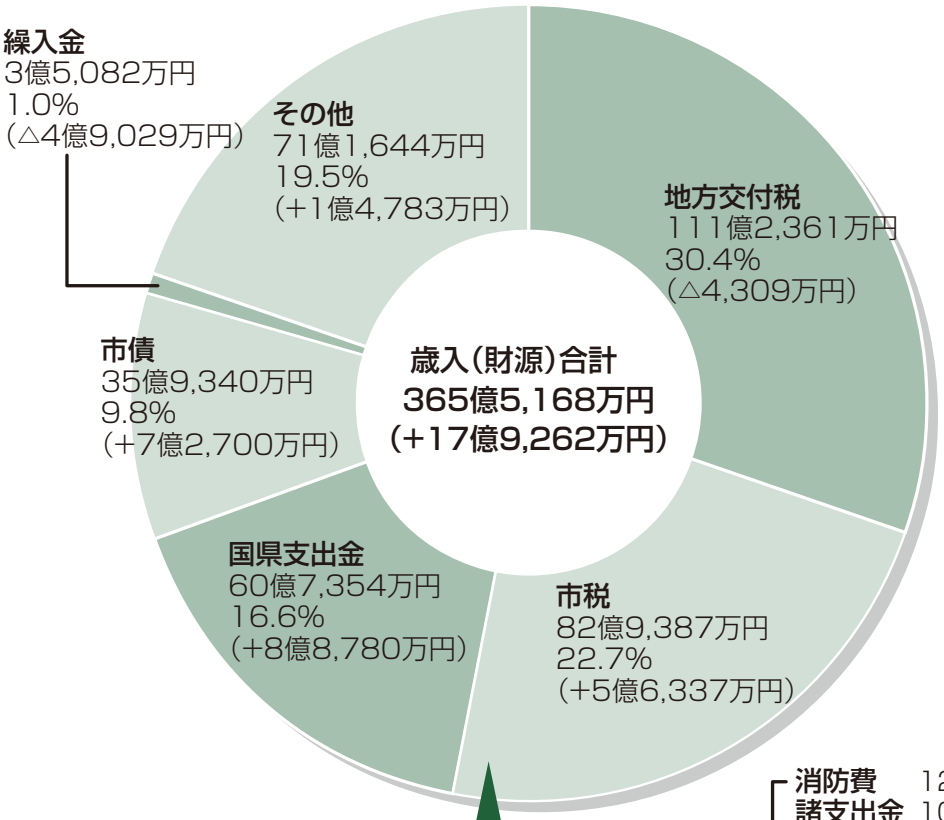
右のQRコードを読み取ってご覧ください。
カメラをかざすだけでアクセスできます。

読み取りはこちら

まちづくりに向けて

令和7年度 一般会計決算を認定

第3回定例会は、9月1日から9月28日までの28日間の会期で開催し、令和7年度一般会計ほか11会計の決算をはじめ、補正予算、条例、報告など計38件を審議しました。

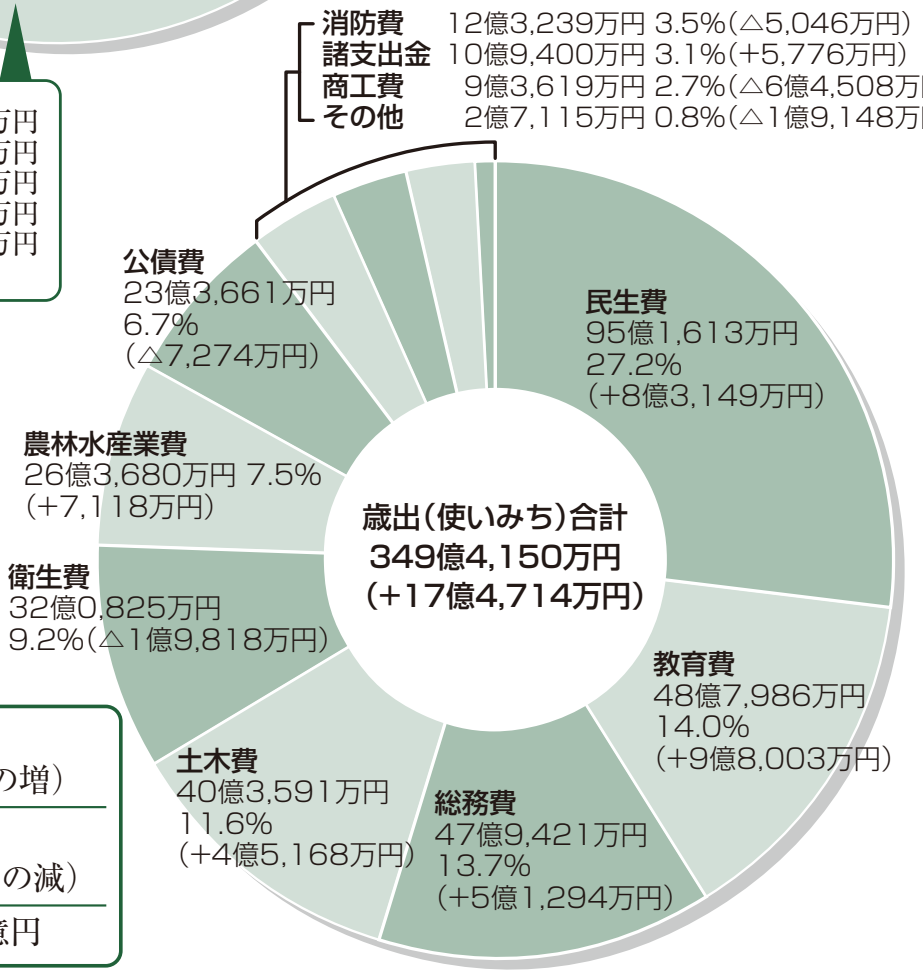


※金額は、万円未満を四捨五入しています。
※カッコ内は令和6年度決算と比べた増減額です。

市税の内訳

固定資産税	46億1,815万円
市民税	30億6,237万円
市たばこ税	2億7,279万円
軽自動車税	2億3,780万円
入湯税	1億 275万円
など	





基金（預金）の累積残額
228億円（合併時から178億円の増）

市債（借金）の累積残額
435億円（ピーク時から574億円の減）

合併後トータル改善額 752億円

合併特例最終年度、新たな

令和8年度
一般会計補正予算（4号） 1億　56万円増額
一般会計補正予算（5号） 1,280万円増額
※全員賛成で可決

予算総額は357億8,772万円に

おもな使いみち

※金額は、万円未満を四捨五入しています。

北杜市盆踊りソングプロモーション事業 275万円

市の魅力を詰め込んだ盆踊りソングを制作し、子どもや若者などに訴求力がある盆踊りの活用により、市内外へ魅力を発信するとともに、市民の郷土愛の醸成とブランド力の向上を図る。

行政区物価高騰対策給付金 3,000万円

光熱費などの物価高騰の影響を受ける行政区の負担軽減を図り、安定的な行政区運営に資するため、行政区に対し給付金を支給する。
補助額 10月1日時点の行政区加入世帯数×2,000円

高齢者運転免許証自主返納支援事業 976万円

運転免許証を自主返納した高齢者に交付・販売している市民バス・タクシー共通回数乗車券の利用が増加していることから、経費を増額し、事業費を合計1,476万円とする。

防災マルチタスク車両整備事業 1,945万円

過疎地域における市民サービスの充実と災害時の意思決定の迅速化を図るため、現地で公共サービスなどを提供する防災マルチタスク車両を1台導入する。





さまざまなレイアウトに変更できる車両

指定管理施設事業 1,280万円

令和9年1月から営業再開を予定する「増富の湯」の指定管理料。

おもな補正財源

繰入金　4,959万円　地方交付税　4億7,457万円
市債　2,600万円　県支出金　4,267万円
国庫支出金　4億2,641万円

特別会計補正予算

※全員賛成で可決

・介護保険特別会計（第2号）

令和8年第1回臨時会議案審議結果

可＝可決 否＝否決
可＝賛否あり

案件名	内　容	可否
専決処分の報告について（損害賠償の額の決定）	公用車事故1件、物損事故3件	可
令和8年度一般会計補正予算（第3号） ▶トピックス①	歳入歳出それぞれに1億6,143万円を追加するもの	可

令和8年第3回定例会議案審議結果

可＝可決 否＝否決
可＝賛否あり

案件名	内　容	可否
令和7年度一般会計歳入歳出決算の認定 ▶トピックス②	歳出総額を349億4,150万円とするもの	可
令和7年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	歳出総額を54億8,941万円とするもの	可
令和7年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	歳出総額を12億1,610万円とするもの	可
令和7年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	歳出総額を54億6,889万円とするもの	可
令和7年度居宅介護支援事業特別会計歳入歳出決算の認定	歳出総額を1,683万円とするもの	可
令和7年度新エネルギー事業特別会計歳入歳出決算の認定	歳出総額を1億1,063万円とするもの	可
令和7年度辺見診療所特別会計歳入歳出決算の認定	歳出総額を1億1,139万円とするもの	可
令和7年度白州診療所特別会計歳入歳出決算の認定	歳出総額を8,631万円とするもの	可
令和7年度財産区特別会計歳入歳出決算の認定	歳出総額を1億1,901万円とするもの	可
令和7年度病院事業特別会計決算の認定	収益収入38億1,644万円、収益支出41億7,002万円 資本収入7億7,266万円、資本支出12億6,005万円とするもの	可
令和7年度水道事業会計決算の認定	収益収入22億551万円、収益支出21億6,669万円 資本収入10億4,633万円、資本支出10億7,463万円とするもの	可
令和7年度下水道事業会計決算の認定	収益収入28億1,256万円、収益支出27億958万円 資本収入16億614万円、資本支出23億7,694万円とするもの	可
令和7年度健全化判断比率報告	決算に係る実質赤字比率等の4つの健全化判断比率を報告するもの	可
令和7年度資金不足比率報告	公営企業ごとの資金不足額が事業の規模に対してどの程度あるのか報告するもの	可
令和7年度一般会計継続費精算報告書報告	複数年の継続事業として予算計上した事業が終了したことから清算報告を行うもの	可
認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正	地方自治法施行規則の改正に伴い引用する条項を改めるため改正するもの	可
公共ライドシェア実証運行条例の制定 ▶トピックス③	観光客の利便性向上と既存の公共交通機関の補完を図るため、市が実施する実証運行に必要な事項を定めるもの	可
地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	地方自治法及び地方公営企業法の改正に伴うもの	可

↖ 議案一覧P5につづく トピックスの議案はP6、7に詳細を掲載

令和8年第3回定例会議案審議結果（続き）

可＝可決 否＝否決
可＝賛否あり

案件名	内　容	可否
長坂コミュニティ・ステーション条例の一部改正	コワーキングスペースの利用拡大を図るため、新たに利用区分と料金を規定するもの	可
子どものための教育・保育給付に関する利用者負担額を定める条例の一部改正	地方税法の改正に伴い引用する条項を改めるもの	可
市立保育園条例の一部改正 ▶トピックス④	わかば保育園を分園化することに伴い、名称を変更するもの	－
企業等振興支援条例の一部改正	新たに宿泊業を支援措置の対象とするもの	可
手数料条例の一部改正	県手数料条例等の改正に伴い、優良宅地造成の認定手数料を規定するもの	可
令和8年度一般会計補正予算（第4号）	歳入歳出それぞれに1億56万円を追加するもの	可
令和8年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	歳入歳出それぞれに1,145万円を追加するもの	可
字の区域の変更（白州町下教来石）	白州町下教来石地区の区画整理工事の実施に伴い変更を求めるもの	可
工事請負変更契約の締結（小淵沢小学校長寿命化改修工事（電気設備））	契約金額を893万円増額するもの	可
人権擁護委員の候補者の推薦について議会の意見を求める件	浅川享子（大泉町）	可
奥野山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙	仲澤幸雄、小泉正明、清水美男、大柴栄俊、深澤和幸 清水一惠	可
子どもたちのゆたかな学びと、学校の働き方改革を実現するための教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書 ▶トピックス⑤	学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、教員の加配定数の拡充を推進すること等	可
「国際紛争を助長させる武器輸出の閣議決定の撤回を求める意見書」の採択を求める請願書	武器輸出を原則とした4月21日の閣議決定の撤廃	継続
日本政府・国会に非核三原則を堅持する意見書の提出を求める請願	日本政府・国会に非核三原則堅持の意見書提出	継続
令和８年度北杜市一般会計補正予算（第5号）	増富の湯の指定管理者が決定したことに伴う指定管理料の計上	可
ふるさと交流施設すたま自然健康村増富の湯の指定管理者の指定	令和9年1月1日からの増富の湯の指定管理者の指定の議決を求めるもの	可
動産の取得（市民バス車両）	車両の老朽化に伴い、市民バス車両の購入をするもの	可
動産の取得（移動式循環型水洗トイレ）	災害時用として移動式循環型水洗トイレを購入するもの	可
子どもたちのゆたかな学びと、学校の働き方改革を実現するための教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書の提出	文教厚生常任委員会で採択された請願の発議 ▶トピックス⑤	可
市立保育園条例の一部改正議案の撤回	議案を撤回するもの ▶トピックス④	可

トピックス①

議会中継動画へ

第1回臨時会　令和8年度一般会計補正予算（第3号）　全員賛成

■**会期**　8月25日（火）

■**議題**　令和8年度北杜市一般会計補正予算（第3号）
歳入歳出予算の総額に1億6,143万円を増額し、356億7,436万円とするもの。

■**使いみち**　特定外来生物緊急防除対策事業
1億6,143万円
7月に県内で初めて特定外来生物であるクビアカツヤカミキリが確認されたことから、被害の未然防止を早期に行うため、緊急防除対策を実施する。

■**財源**　県支出金　1億6,143万円



市内で進む消毒作業

トピックス②

質疑の詳細は、P8,9「決算特別委員会」に掲載。

議会中継動画へ

令和7年度一般会計歳入歳出決算　※賛成17、反対2で認定

賛成討論

（秋山俊和）

第4次北杜市総合計画を策定し、安全安心で豊かさを実感できる未来に向けた確かな施策に着実に取り組み、市民生活を守り、持続可能なまちづくりを進めている。

反対討論

（志村清）

国保税・介護保険料の引き下げのための提案・検討がされていない。財政の繰越し分の多くを基金などに積み増しているが、財政調整基金は、住民福祉優先に取り崩して活用すべきである。

○=賛成　×=反対　※大芝議員は議長のため賛否表明は行いません。

賛否のあった議案	浅川 勝正	大塚 愛	奥石 知宏	飛矢崎雅也	中村 典子	山崎 君江	髙見澤伸光	奥水 崇	中山 喜夫	神田 正人	大芝 正和	秋山 真一	進藤 正文	志村 清	齊藤 功文	加藤 紀雄	清水 進	保坂多枝子	内田 俊彦	秋山 俊和	結果
令和7年度北杜市一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	×	○	○	○	認定

トピックス③

公共ライドシェア実証運行条例の制定　全員賛成

■**運行区域**　北杜市小淵沢町地内を発着地とする区域
■**運行期間**　令和8年10月1日~令和9年1月31日

※公共ライドシェア（自家用有償旅客運送）とは
　バスやタクシーなどの維持が難しい地域で、自治体やNPOなどが主体となり、地域の住民が自家用車を使って有償で移動手段を確保する制度。
　北杜市では、タクシーの手配ができない場合に、所定の講習・研修を受けた一般ドライバーが、タクシー事業者の運行管理のもと、タクシー車両を使用して運行します。



トピックス④

議案「市立保育園条例の一部改正」の撤回　全員賛成

■**議案内容**　市立わかば保育園を分園化することに伴い、名称を変更するもの。

■**経緯**　議会初日に議案提出され、その後、文教厚生常任委員会で審議されたが、最終日に市長より「分園化を進める上で必要な、地元及び関係者との協議などが適正な時期に行われていなかった」ことから、議案撤回の申し出がなされ、承認となった。

トピックス⑤

子どもたちのゆたかな学びと、学校の働き方改革を実現するための教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書の提出　全員賛成

■**請願者**　北杜市PTA協議会　ほか
■**紹介議員**　保坂多枝子　ほか
■**内容**
　学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、教員の加配定数の拡充を推進すること、教育の機会均等と水準の維持向上のため、国庫負担割合を1/2に復元することなど。

令和8年度 決算特別委員会

委員長　秋山真一
副委員長　神田正人

令和7年度決算12件を審査

一般会計

Q 議場システム更新で議会運営がどう改善されたのか。

A 経年によりシステムの動作に不具合が生じたが、更新後はスムーズな議会運営ができている。

Q 7年度の起債の発行における考え方は。

A 将来に負担を残さないため、事業目的に合う起債で交付税措置の高いものについて借り入れ。

Q カーブミラーの設置要望は、どのぐらいの期間で対応しているのか。

A 各総合支所で現場を確認し、危険な箇所を優先的に予算の範囲内で、迅速に対応している。

Q 奨学金返還支援事業助成金の実績は。大勢の人に利用してもらえるための周知方法の工夫は。

A 42人が利用。転入手続き時に案内をしたり企業交流会などの集まりで周知している。

Q 国はこれまでのDXからAXの考えにシフト。市の認識は。

A 常にアンテナを高くして、ツールを積極的に活用し業務効率化を図る。国や民間で行う技術研修講座も積極的に受講する体制をとっていく。

Q ほくとファンクラブは、国から2分の1交付がある三カ年の事業年度が8年度に終了するが、9年度以降の方針は。

A 9年度以降は民間で実施できればと考えており、市は伴走支援として関わっていきたい。

Q 全庁業務量調査業務委託の内容は。調査により今後どのような取り組みがなされていくのか。

A 市役所全体の業務量の洗い出し業務である。今後職員数の確保が課題となる中で、業務の見直しや外注に出す検討など、業務改善に取り組んでいく。

Q 基金などの運用は、リスク分散と安全な運用をする必要があるかと思うが、市の認識は。

A 地域の金融機関を中心に運用しているが、市でも経営状態を調査・注視しながらリスク管理をしている。

Q 行政訴訟など、裁判の分野が多岐にわたる中で、各分野に強い弁護士の人選は。

A 行政訴訟や民事訴訟など、今後の展開も考える中で情報を幅広く集め、対応していきたい。

Q 時間外勤務の増加を人員配置に反映させる基準と判断は。

A 所属長から業務量のヒアリングを行い、人員増が必要とあれば人事課で検討している。

Q 地域防災支援システムを導入した効果は。

A 災害時に現場の写真をシステムにアップし、被害状況などを情報共有できることで、迅速な意思決定や的確な支援体制の構築が可能となる。

Q 証明書などがコンビニで交付できれば、市役所の自動交付機は不要では。

A 市役所では、デジタルが苦手な高齢者などへ職員が発行機操作のサポートを行っている。

Q 7年度導入の字幕表示システムは、職員や市民からどのような声が届いているか。

A 耳の聞こえが悪い方など、個人情報への配慮において成果があったと感じる。来庁者へも非常に安心感を与えられている。



使いやすくなった字幕表示

Q 補聴器購入費補助の7年度の利用実績と、制度の周知は。

A 利用者は20名。周知は広報紙、ポータルサイト、SNSなど活用して行っている。

Q 保育業務支援システムを利用した子育てに関するアンケート

↖

は、通園していない世帯の意見が反映されていないと考えるが。

A 今後、広く意見を聴く必要があると判断する場合は他のツールなども利用する。

Q 道の駅はくしゅうの損害賠償請求について、決算に未納として計上されていないが、市が行ってきた対応は。

A 催告は行っているが、相手方と協議をしていない状況があった。全庁的に連携を取りながら債権回収を進めていく。

Q ファミリーサポートセンター利用件数が大幅増加した要因は。

A マッチングに力を入れたこと、自宅以外での預かりを可能にしたことが要因と考える。



利用しやすくなったファミサポ

Q 観光の広告料が6年度と比べ、ほぼ半減となった理由は。

A インバウンド広告のPR手段を大手ウェブメディアのホームページに切り替えたため。

Q 有害鳥獣のサルとイノシシの捕獲数が減っている理由は。

A 出没箇所が人里に近くなっており、罠を仕掛ける場所が限られることも原因と考える。

Q 再生困難な農地の削減は。

A 再生困難な農地にならないよう、指導するとともに、非農地判断という方法もあり、慎重に対応していく。

Q 子育て応援マイホーム補助金制度の評価は。

A 子育て世代が10年定住することによる住民税や固定資産税なども考慮した制度設計であり、有益な制度として今に至るまで継続されているもの。

Q 教職員のストレスチェックは。

A 比較的良い判定がでており、上司からの支援が多い傾向にあるという結果となっている。

Q 八ヶ岳スケートセンターの利用者が減っているがなぜか。

A 6年度と集計方法を変更したことで数字的に減少しているが、実績としては微増となっている。

Q 考古資料館の入場者を増やす取り組みがあるか。

A 皆さまに興味を持ってもらえるような企画展を計画し、入場者を増やしたい。

反対討論　志村　清

賛成討論　秋山俊和

※賛成17、反対2で認定すべきものと決定。討論はP6に掲載。

特別会計

- 国民健康保険特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険特別会計
- 居宅介護支援事業特別会計
- 新エネルギー事業特別会計
- 辺見診療所特別会計
- 白州診療所特別会計
- 財産区特別会計
- 病院事業特別会計

企業会計

- 水道事業会計
- 下水道事業会計

※特別会計、企業会計ともに全員賛成で認定すべきものと決定。

統合中学校にかかる特別委員会

委員長　内田俊彦
副委員長　大塚　愛

市の重要政策である中学校統合について協議するため3月に設置した特別委員会では、十分な調査と慎重な審議を行うため協議会や視察を重ねています。

4月14日　教育委員会との質疑
5月25日　教育分野の専門家から参考意見の聴取
6月18日　委員のみ協議会を開催
7月21日　教育委員会及び関係部局との質疑
8月7日　市内学校設置候補地を視察
9月16日　委員のみ協議会を開催
10月5日　岐阜県恵那市立恵那南中学校を視察

設置場所についての説明会が開催されます

11月7日（土）
長坂コミュニティ・ステーション

10日（火）
須玉ふれあい館

11日（水）
甲斐駒センターせせらぎ

※時間はいずれも19時～

代表質問

大柴市政の重要施策は



ポラリス北杜
輿水（こしみず）　崇（たかし）

議会中継動画へ

Q 大柴市政の重要施策の現状と今後の課題は。

A 「北杜を前へ」進めるため、7年度、第4次総合計画を策定した。「教育」では、中学校統合準備室の設置、給食費と保育園副食費の無償化、保育料の完全無償化。公民館などの一時避難所の整備支援、災害時の司令塔となる新庁舎整備に向け候補地選定と基本構想の策定を進めている。「産業・農業」では、土地改良事業分担金の軽減、スマート農業具への助成。「観光」では、小淵沢エリア振興ビジョンに基づく市道と施設整備。がん検診の無料化、後期高齢者への人間ドッグ費用助成、免許返納者への乗り物チケット発行などを展開している。

公共施設とインフラの統廃合や維持管理、そのための財源確保は正面から向き合っていかねばならない大きな課題。

公立保育園の今後は

Q 老朽化が懸念される保育園の更新や整備は。

A 整備計画の優先順位は、みどり保育園、武川保育園、わかば保育園。高根地区は複数の保育園があることなどを踏まえ、再調査を実施し計画を見直す。

Q 保護者へのアンケート結果は近くに保育園があることが重要と考える保護者が多いが。

A 保護者にとって、身近な場所に保育園があることが重要と認識。園児の減少傾向、保育士確保など、総合的に勘案し、アンケート結果を踏まえ、魅力ある保育園づくりに努める。

Q 今後、公立保育園の統合などを進める際には、この地域の保育機能という点に十分留意し、民間の運営や指定管理なども含めて、地域の保育機能を維持しながら検討を進めることが非常に重要と考えるが。

A 身近に保育園があることは重要であると認識。保育園の統合などを進めるにあたっては、さまざまな要素を総合的に勘案し、民営化や指定管理も含めて検討。

（大塚議員による関連質問）

Q 保育園が休園、閉園となる際に、通知後どのくらいの期間を経て休園、閉園に至るかを明文化する必要があると考えるが。

A 在園している園児と保護者のことを最大限配慮した内容をプランなどへ記載する。



保育園の現状と保護者が望むこと

一般質問



髙見澤伸光（たかみざわのぶみつ）

議会中継動画へ

交通弱者の緩和については

Q 市民バスの調査や分析は。

A 利用状況をエリア別、路線別に月ごと調査を行い、総合的に分析し課題を整理して、優先順位を明確にしたい。市民を対象とした調査や交通事業者へのヒアリングや、中高生など実際に利用する方への調査も行い、市民の移動ニーズを的確に把握したい。

小淵沢の景観については

Q 看板の色彩統一や自然景観と調和するアースカラーを導入することで、魅力が高まると思うが、市の見解は。

A 品格のある雰囲気の醸成に向け、周辺景観と調和する看板の色彩やデザインのあり方について検討を進める。

ゴミ減量化とアパートなどから排出されるゴミは

市民からも大変好評であった家庭用ごみ処理機の補助金が令和6年度をもって終了した。また市の財政貢献度も高かった。再開を望む声もある。また市内はアパート不足であり、新規建設の補助金を市は設定しているが、アパートから排出されるゴミが統一的な収集方法ではなく、事業者側での課題となっている。

Q 生ゴミ処理機、コンポストは、さまざまな効果が絶大であることは明らか。市民の生活に直結し、取り組みやすく、環境面、財政面でも非常に有意義な施策であったと評価するが。

A 生ごみ処理機やコンポスト処理容器の活用は、家庭における生ごみ減量化や生ごみ処理後に堆肥化など有効である。生ごみ処理機購入補助金制度のあり方について検討。

Q アパートからの排出ごみは。

A 本市におけるこれまでの対応を全て改め、収集・運搬業務について新たな統一基準により運用するには、ごみ集積所の容量や収集・運搬業者の負担増大など課題も多い。統一的な判断基準による運用の可能性を検討。



アパート不足を解決したい

開庁時間短縮とDX推進は

Q 開庁時間短縮での窓口、電話対応の変更は。時間外の対応は。

A 電話予約による本庁舎での「夜間証明書の交付」や手数料10円の「コンビニ交付」を案内中。時間外であっても緊急時には、担当部局につなぐように対応。

Q 窓口に来なくても手続きが完結できる行政サービスの拡大などを明確な目標として位置づけていくことは。

A 明確に位置づけていきたい。

一般質問



大塚　愛（おおつか　あい）

議会中継動画へ

子ども・若者の居場所は

Q くるぐるへの受け止めは。

A 学生と地域をつなぐ拠点として育てていきたい。

Q 人件・運営費など支援は。

A 活性化のため、開設日の増加や運営体制の強化を検討。

Q 今後、居場所の増設は。

A 長坂コワーキングの中高生利用を検討。既存施設の動向、ニーズ把握・分析進める。

こども性暴力防止法対応は

Q どの部局が担当するのか。

A 人事課が包括的に担い、関係課と連携を図る。

園服・体操着の方針は

Q 体操着の自由化予定は。

A 令和9年4月から進める。園服は自由化含め検討する。

一般質問



奥石　知宏（こしいし　ともひろ）

議会中継動画へ

市の部活動地域展開は

Q 合同部活動のチームを認定地域クラブとする考えは。

A 要件を満たすことで、認定することは可能。

Q 部活動地域展開の課題は。

A 指導者の確保と移動手段。早期展開するには、保護者の理解と協力による送迎も含めた対応策を検討する必要有り。

義務教育振興実行委員会の要望は

Q 統合を理由に後回しにすることはないか。

A 必要な修繕などについては状況踏まえた対応を行う。

Q 継続要望の判断は。

A 安全性や緊急性、教育活動への影響などで改めて判断。

代表質問

地域の防災・減災力の強化は



北杜クラブ

秋山（あきやま）　俊和（としかず）

議会中継動画へ

Q 令和8年度、地域防災計画の改訂作業状況は。

A 北杜市防災会議の審議を経て、年度内の改訂完了を目指す。

Q 土砂災害警戒区域、特別警戒区域の減災対策は。

A 土砂災害区域に居住し、早期避難に配慮を要する高齢者世帯に防災ラジオを無償貸与。

Q 線状降水帯、ゲリラ豪雨など、局地的な短時間強雨が増加している。小規模河川、水路の氾濫抑止対策は。

A 降雨情報などを常時確認し、北杜市建設安全協議会と連携、必要な対策を行う。各総合支所に土のうを準備し、迅速に対応できるよう体制を整えている。

Q 避難所の自主的運営体制は。

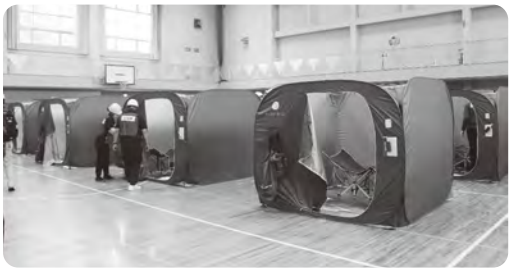
A 令和7年度、市民の主体的な防災意識の醸成と実践力向上を図るため、指定避難所を活用した「避難所体験」を実施した。

Q 災害弱者への支援体制は。

A 専門的なケアを必要とする方のための「福祉避難所」について、社会福祉施設や民間事業者25施設と協定を結び、災害時には迅速に避難できるよう協議。

Q 災害時の情報伝達は。

A 防災行政無線の音声明瞭化や、難聴地域の伝達対策、防災アプリの導入を進めている。



訓練を通して防災意識の向上を

災害対応と本庁舎の建設は

Q 本庁舎建設を最優先に進める考えは。

A 市民の生命と財産を守ることを最優先に、耐震・防火対策などを備えた本庁舎整備を早期に進める必要がある。一方で、統合中学校整備も、子どもの教育環境改善のため重要な事業。財源確保に努め、計画的に整備したい。

Q 本庁舎を「建てるべき場所」は。

A 本庁舎を関連機関の近くに配置することで即応性や情報共有の向上が期待される。一方で、用地確保の容易さ、財政面への配慮、まちの発展性の視点も重要。

Q 災害時は対策本部と避難所の分離が必要では。

A 発災直後の一時的避難者の受入は必要だが、本庁舎は、被害状況の把握、復旧・復興作業、物資配分、人員の配置管理など対策本部としての業務を中心に行う。

市役所東側への信号設置は

Q 市道大豆生田線と県道須玉中田線の交差点への信号機設置は。

A 当該交差点の交通量、事故発生状況、住民からの情報の把握は。

Q 北杜警察によると交通量調査は実施されていない。今後、連携して状況把握に努める。地区からの安全対策を求める要望は重く受け止めている。

A 警察や県への働きかけは。

Q 改めて北杜警察署に設置要望を行いたい。

A 信号設置までの当面の安全対策は。

Q 県道側に注意看板の設置、道路誘導標識、区画線などの検討を行いたい。

クビアカツヤカミキリ対策は

Q 8月の調査以降、発見や被害発生は。

A 現時点では確認されていない。

Q 発生や被害状況の把握方法は。

A 公共施設は施設管理課が調査するとともに、行政区の協力を得て、市全域の被害状況の把握と、防除対象本数の調査を実施。

一般質問



秋山　真一（あきやま　しんいち）

議会中継動画へ

長坂ＩＣ渋滞回避策は

Q 長坂ＩＣ交差点の周辺に中央分離帯の設置は。

A 効果的な渋滞対策を検討。

Q 混雑時に出入口側道を通行止めにすることは。

A 実施は難しい。

Q 高速利用者の分散は。

A 看板など試行的な運用を行い、効果を検証する。

災害に遭われた方の支援は

Q 見舞金増額や特別支援を。

A 近隣の動向踏まえ検討。

Q 住家だけでなく店舗や倉庫など対象範囲見直しは。

A 支給要件事例を研究する。

Q 罹災ごみの支援は。

A 減免措置適用を研究する。

Q 各種支援や手続きなど、分かり易い案内の作成は。

A 市ＨＰに案内を作成する。

統合中学校の建設位置は

Q 市民の意見を聞く場は。

A 段階において、検討経過、判断要素など示し、意見を伺う場を確保したい。

Q 新校舎建設の意図は。

A 安全で持続可能な教育環境を確保する観点から新設することが適当と判断。

Q 既存プールを解体し付属校舎を建てるなど、既存校舎活用の検討は。

A 必要面積の確保、工事中の安全など総合的に機能を満たせず難しいと判断。



渋滞なくし安全な道路環境を

組合議会報告

峡北広域行政事務組合議会

第１回臨時会

７月22日に開催され、条例等５件について審議し、原案のとおり可決されました。

■条例

▼特別会計設置条例の一部改正

■和解

▼損害賠償請求事件に関する和解

■補正予算

▼常備消防特別会計（第１号）

■契約

▼高規格救急自動車購入契約の締結

■同意

▼監査委員

赤澤　厚（甲斐市）

熊本地震へ義援金

令和8年熊本地震により被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

北杜市議会では、犠牲になられた方々のご冥福と早期に復旧されますことをお祈り申し上げ、義援金を送金いたしました。



代表質問

減災力の強いまちづくりは



公明党

進藤（しんどう） 正文（まさふみ）

議会中継動画へ

Q 防災意識を高める取り組みは。

A 庁内での「備蓄品展示コーナー」の設置などを検討したい。

Q 感震ブレーカーの補助制度は。

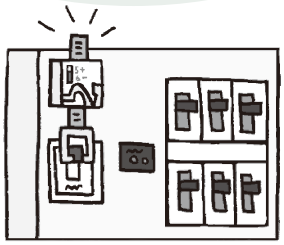
A 国・県や県内自治体の動向を注視して調査・研究する。

Q 地域強靭化計画による事業は。

A 8年度は、ハザードマップの改定、個別避難計画の策定、防災行政無線の音声明瞭化、避難所への簡易ベッドとパーテーションの配備などに取り組む。9年度以降は、避難所生活環境の質的向上や備蓄の拡大を進めたい。

Q 地方創生交付金活用事業は。

A 地域未来交付金を活用し、8年度、移動式循環型水洗トイレ3基の導入を予定している。



備えて安心「感震ブレーカー」

総合健診の取り組みは

Q 総合健診の取り組みと課題は。

A 8年度は45回開催予定。基本健診とがん検診の同日実施や託児、送迎、休日実施など、受診しやすい環境づくりを進めている。未受診者への働きかけが課題。

Q 検診無料化の状況は。

A 7年度から、40～64歳の国保加入者で、特定健診と同日にがん検診を受けた方を対象に、胃・大腸・乳・前立腺がん、腹部超音波検診を無料化。8年度から、全世代に、基本健診と同日の腹部超音波検診を無料化している。

Q 後期高齢者の人間ドック助成は。

A 令和8年度から事業を開始した。8月末時点で、630人の想定受診者を上回る782人が希望している。

防犯強化のまちづくりは

Q 防犯カメラの設置は。

A 自治会には、県警の防犯カメラ設置促進事業の活用を案内。

認知症対策は

Q 理解を深める取り組みは。

A 令和7年度、市の認知症サポーター養成講座が累計で1万人を超えた。

Q GPSを活用した見守りは。

A 広大な面積の本市はGPSの活用が有効な手段と考えられる。効果やニーズを踏まえ研究。

介護に備える取り組みは

Q 現状と課題は。

A 独居高齢者、頼れる身寄りのない高齢者が増加する中、支える介護人材確保の困難さが課題。

Q 専門職の必要性は。

A 4月、理学療法士を配置した。

一般質問



内田（うちだ） 俊彦（としひこ）

議会中継動画へ

医療的ケア児支援法改正は

Q 日常生活用具支援、基準額などの見直しや拡充は。

A 利用実績のある品目から実現に向けて取り組んでいく。

Q 家族の就労支援充実は。

A きめ細かな就労支援継続。

Q 子育て世代の不安解消、ワンストップ相談窓口は。

A こども家庭センターが相談の入口、連絡調整や情報提供を行っている。

Q 一時預かり、居宅福祉保健医療サービスの対応は。

A 負担軽減は夜間や緊急時にヘルパー派遣や、訪問看護の保健医療サービス確保が重要課題の一つ。

Q 市独自の支援は。

A 課題解決に向け支援検討。

代表質問

AIデマンド導入は

日本共産党

志村（しむら）　清（きよし）



議会中継動画へ

足に困らない市に

Q デマンドバスの改善は。交通空白地域へのタクシー券支給は。

A 当日予約は検討している。土日運行、エリア間乗り入れ、増便は当面は困難。一律要件によるタクシー券支給は考えていない。



大事な住民の足・デマンド

Q 次期計画の市民アンケートは。

A 3千世帯と中高生などの利用者を対象に、11月から実施予定。

Q AI活用のデマンド交通導入は。

A 導入済みの先進事例などを参考に、本市の実情に合った公共交通のあり方を検討する。

市の防災対策は

Q 指定避難所の備蓄品は十分か。一時避難所の設置の現状は。

A 食料備蓄は、想定避難者数の1日分の9千食を確保。3日分確保に向け整備中。簡易ベッドなどの生活資機材は十分に確保。一時避難所は約200施設。

Q 要支援者数、個別避難計画の作成済み人数は。作成への報酬規定など推進策は。

A 要支援者は2、714人、個別避難計画作成済みは106人。福祉専門職の参画や策定方法を含め、先進自治体の事例を調査・研究する。

Q 福祉避難所の整備の状況は。

A 25の民間福祉施設などと協定を締結し、開設・運営体制を整えている。今後、定期的に協議し、訓練などは工夫して取り組む。

Q 消防防災課の人員体制強化は。

A 大規模災害などの発生時には、他部局や総合支所などとの連携の下、全庁を挙げ対応する。

市立病院改革プランは

Q 国の再編統合方針には、くみしない方針か。

A 国の「地域医療構想の考え方」に基づき、本市の人口構造や地理的条件などを踏まえ、地域全体として必要な医療を確保できる体制づくりに努める。

Q 国に診療報酬大幅引き上げや特別交付金支給を求める考えは。

A 8年度、診療報酬はプラス改定となったため、両病院の収益に与える影響を注視していく。

塩川ダム上流産廃跡地影響は

Q 環境ホルモンの検出は。

A 「日向処分場」と「岩下処分場」で、微量のビスフェノールAが検出されているが、原水の取水口や浄水場では検出されていない。定期的な水質検査、現地確認による監視を継続する。

一般質問



清水（しみず）　進（すすむ）

議会中継動画へ

避難所の食事提供、課題は

Q 避難所立ち上げと課題は。

A 防災人材の育成を行い、地域の避難所設置・運営体制の整備を進め、一層の体制整備が図られると認識。

Q 地区ごとに防災士配置は。

A 31名の防災士がいる。多様な世代参画を働き掛ける。

Q 女性防災士増員の考えは。

A 県と連携し育成講習会の周知を行い、女性や多様な世代の参画に向け、関係団体にも働きかけていく。

Q バランスよい食事・野菜などが取れる考えは。

A 高齢者の配慮食、アレルギー対応など多様な食材確保。災害時の支援要請体制構築に向け、協議・調整している。

代表質問

本庁舎整備の検討状況は



みらい創生

保坂多枝子（ほさかたえこ）

議会中継動画へ

Q 8年度開催された市民ワークショップでの参加者の意見は。

A 「交通」は、市内各地からのアクセスのしやすさ、「災害・防災」は、災害時の行政機能維持、「経済性・コスト」は、市有地や既存公共施設の活用による費用の抑制、「まちづくり」は、周辺施設との連携による発展可能性の重視、などの意見があった。

Q 8月24日の第3回検討委員会で示された、6つの候補地の選定の経緯は。

A 「市有地」「庁舎、駐車場に必要な敷地面積」「各地域からのアクセスの良さ」「既存施設の再編、活用」などの6条件が設定され、長坂総合支所、長坂中学校、旧秋田小学校、高根総合支所、高根中学校と現本庁舎が候補地となった。

Q 最終候補地はどのようにして決定するのか。今後の進め方は。

A 全面新築と既存施設活用の全12パターンを比較評価し、8年度中に「新庁舎整備基本構想」を策定、9年度以降、「新庁舎整備基本計画」を策定する予定。最終的な場所は、市議会の条例の議決により決定される。

災害に備える対策は

Q 令和8年度の総合防災訓練の成果と課題は。

A 市民の防災意識向上と各種防災計画の実効性の検証のため、8年ぶりに総合防災訓練を実施。初動体制の確立、消防団による避難誘導、自衛隊による炊き出し、警察ヘリやドローンによる広域偵察、避難所の開設など多角的な取り組みを展開し、大きな成果を得られた。広域避難時の交通整理、通信環境の確保、要配慮者対応の手順など具体的な課題が明確となった。

Q 避難所のスペース確保と冷暖房の設置と妊産婦、乳幼児、要介護者、高齢者、女性への対応は。トイレの設置や一次預かりの体制は。

A 高齢者などの優先エリア、女性専用エリア、妊産婦・母子スペースの確保に努める。社会福祉施設などとの協定に基づく「福祉避難所」を迅速に開設する。学校体育館の冷暖房設備はおおむね設置が完了。トイレは、防犯に配慮した設置。子どもや保護者のニーズの把握に努める。

Q 企業との連携は。

A 民間企業など46社と防災協定を締結。食料・飲料水や生活必需品の優先提供、資機材提供や輸送ルート確保などに協力。

Q 避難、救護、炊き出しなどの計画と訓練は。発災からの時間経過など状況に応じた訓練計画は。食中毒やアレルギー対策に有効なトレーの準備は。

A 総合防災訓練では、避難誘導や救護、炊き出し訓練などを実施した。今後も参加型・体験型の訓練を継続的に実施。状況に応じた段階的な訓練も、研究・検討。管理栄養士と多様な対応に向け検討。



いつ起こるかわからない災害に備えて

Q 外国人への対応は。

A 災害時には、国際交流ボランティアの活用など、関係機関へ協力要請を行う。多言語による迅速な情報発信と避難所での支援体制の充実に努める。

インド訪問の成果は

Q 本市への具体的な成果や取り組みの方針は。

A 現地企業から本市への関心に

丁寧にフォローアップし、立地を検討いただけるよう取り組む。観光PR映像が高い関心を集め、9月に現地の旅行会社3社を迎えた。

Q 水素サミットの概要は。市としての関わりは。

A 県が主催、会場は北杜市。海外から参加者約55人、国内外の行政・企業・研究機関から総勢220人以上が参加する国際会議。

Q 訪問の具体的成果と今後の発展性は。

A インドの圧倒的な人口規模、若さ、経済成長の勢いを体感。訪問で得た貴重なネットワークや協議の成果を、県、ジェトロ、金融機関、大学、地域企業と連携し、市の産業振興や市民生活へ還元できるよう全力で取り組む。

次世代を担う子どものために

Q SNSの利用とゲーム依存症への学校での取り組みは。

A 学級活動や道徳の時間に、活用型情報モラル教材など、発達段階に応じた教材を使い、オンライン上のルールや節度ある利用について、理解を深めている。

Q 幼児期からの正確で適切な性教育が重要。専門家の指導・対象学年・男女同時か。

A 生命や個人の尊厳を尊重する心を育む上で、極めて重要。学校教育全体で取り組む。「子ども性暴力防止法」の施行に伴い、児童生徒が自らSOSを出せる力を育み、社会全体で受け止める体制づくりが不可欠。低学年を対象に専門家による指導を男女ともに受けている。

Q 熱中症対策は。

A 「熱中症対策ガイドライン」を策定、暑さ指数に応じて授業の内容を変更。行事時期見直しも進めている。



早期から命や個人の尊厳を学ぶ性教育を

一般質問



神田（かんだ） 正人（まさひと）

議会中継動画へ

指定ごみ袋の値上げは

Q 指定ごみ袋のコスト上昇は。

A 1枚当たり単価は7年度4・01円から6・29円、約1・5倍。

Q 価格改定・賃上げの検討は。

A 通常サイズ10枚150円、小サイズ10枚110円、慎重に検討。

Q 市民負担割合の考え方は。

A ごみ排出は日常生活に伴い発生、市民にも一定の負担をお願いしている。

Q 不法投棄・分別の増加対策は。

A 不法投棄未然防止のため、峡北広域シルバー人材センターに委託し、定期的にパトロール。

Q 根本的な経費削減策は。

A 適切な分別を促すことが重要、街頭啓発活動も実施。新ごみ処理施設移行を見据え、収集運搬効率化や経費削減なども協議。

障害者就労施設の優先調達は

Q 3年間の調達件数、金額は。

A 令和7年度は159件、144万円、件数は減少、金額は年度で増減。

Q 優先調達と今後の拡大分野は。

A 業務内容や量に応じて発注、全庁的な優先調達促進を図る。

ICT教育について

Q 具体的な成果と評価は。

A ICT活用を意識的に行う生徒ほど正答率が高い傾向。

Q 学校・教員の活用方法把握は。

A ICT活用を指導できる教員は全体の8割超が回答。

Q 研修や学校現場支援の充実は。

A 8年11月から新たに支援員を業務委託、指導実現に努める。

Q 生成AIなどの情報教育は。

A 国は情報教育強化に向けた検討が進む。AIを安全かつ効果的に活用する力など、情報活用能力の向上に努める。

代表質問

市の庁舎建設課題は



北杜オール・イン・ワン

山崎（やまざき）　君江（きみえ）

議会中継動画へ

Q 庁舎建設の財源を心配している市民は多い。他県の庁舎建設の例では、基本計画より供用時には約1・5倍整備費用が上昇している。物価上昇率を踏まえると大変危惧される。同様に中学校2校建設についても整備費用の上昇が予想されるのでは。

A 庁舎はもとより、中学校整備費用についても同様の影響が及ぶことも考えられる。

Q 建設費の総額、財源、将来世代が負担する借金を開示して庁舎建設に臨むべきでは。

A 本庁舎に必要な機能、事業規模が固まった段階で概算費用の算出を行う予定。

Q 既存施設の活用は。

A 既存施設の活用による事業費節約の意見も寄せられた。面積が不足する分について、総合支所や校舎を改修し、増築する方法も検討している。



新庁舎建設のための財源は

持続可能な水道事業と経営適正化は

Q 値上げした水道料金の使用用途は。

A 水道管路の耐震化、水源や排水施設などの更新に充てる。

Q 峡北地域広域水道企業団と水道供給単価の引き下げの協議は。

A 企業債の償還終了に伴い、余力が生じるものと見込まれる。しかし、将来的な施設更新需要は高まることが予想される。受水条件について、見直しの必要性があることも十分に認識している。

Q 水道事業全体を3市で統合する考えは。

A 本市は、令和2年度に「地方公営企業法」の全部適用により、一つの給水主体として効率的な経営体制を整えてきた。水道事業の統合に当たっては、関係自治体と施設環境や経営状況など、それぞれが抱える課題や考えが異なることから、慎重に検討したい。

道の駅充実とブランド発信は

Q 「道の駅はくしゅう」の駐車場、敷地の拡充は。

A 年間を通じた混雑・渋滞などの交通状況の把握が必要。指定管理者を通じた調査を継続実施する。

Q カメラ設置など研究を進めては。

A 先進事例の研究を進める。

Q ブランド米の産地として、おにぎりを販売しPRしては。

A 「道の駅こぶちさわ」の寿司販売などを参考に検討する。

一般質問



中山（なかやま）　喜夫（よしお）

議会中継動画へ

災害時の協力井戸の推進は

地域で水を分かち合う減災に強いまちづくりを。

Q 市内井戸の現状把握は。

A 令和8年8月時点で市内の稼働井戸は合計425本。

Q 【小さな身近な生活水源＝災害時協力井戸】の必要性は。

A 個人や事業所所有の井戸は、有益で安定した水源として期待される。

Q 【公助を補完する共助＝災害時協力井戸制度の創設】を水道断水時に備え目指しては。

A 地域の共助力を高める上でも重要な意義を持つと認識。災害時の生活用水確保、地域防災力強化に向け先行自治体の事例や運用状況も調査・研究を進める。

一般質問



飛矢崎雅也（ひやざきまさや）

議会中継動画へ

児童安全確保と行政の責任は

Q 登校時の安全確保は制度として担保されているか。

A 学校・家庭・地域が役割を担い、安全を図ると考える。

Q 教職員の早朝対応は制度か。

A 制度ではないと認識している。

Q 制度上の不足を現場が補う可能性を検証する考えは。

A 現在、検証する予定はない。

部活動地域展開、活動機会は

Q 子どものスポーツ・文化芸術活動への市の基本認識は。

A 教育的意義を有し、単なるサービスではない。学校・家庭・地域・行政が役割を担い、継続して活動できる環境を整えることが重要。

Q 公的性質を有する地域クラブ活動の費用負担は。

A 生徒・保護者に一定の負担を求めることを妨げず、負担の範囲などは今後検討する。

Q 送迎できない家庭の子どもについて、活動機会の保障は。

A 移動手段は課題と認識し、公共バス、市民バスなども念頭に検討する。

Q 中学校2校統合と部活動の地域展開との関係は。

A 統合と地域クラブへの展開は別として考え、それぞれ進める。



子どもがスポーツに親しめる環境を

一般質問



中村　典子（なかむらのりこ）

議会中継動画へ

中学統合、公文書管理は

Q 統合方針の最終決定にかかる決裁文書、2校の建設場所決定の経緯がわかる文書は。

A 庁内会議などでの政策判断の上、公表した。そもそも文書を作成していない。

Q 文書管理規程に基づき、どのような文書により「事案の処理」を行ったのか。

A 制度として確定する前の整理段階で、事案の処理として最終的に整理された段階には至っていない。

Q 規程には途中経過も含め文書に残すと定められている。会議が口頭でも議事録を作るべきでは。

A 検討に用いた資料は存在するが議事録はない。

給食時間は教員の休憩時間か

Q 休憩時間に児童・生徒への対応を行っている場合は。

A 教員が自らの使命感と自主性により休憩時間中に給食指導などに当たる場合は休憩時間と取り扱う。

Q 休憩取得実態の把握は。

A 学校長が確認し、教育委員会では個別に確認していない。



給食は先生の休憩時間?

避難所の夏場の対策は

Q 冷房設備の整った教室などを避難スペースとして活用し、要配慮者を受け入れる仕組みは。

A 災害時の避難状況に応じ、柔軟かつ適切に対応する。

一般質問



浅川　勝正（あさかわ　かつまさ）

議会中継動画へ

森林環境譲与税の活用は

Q 制度開始から現在までの譲与額や活用額、実績や成果は。

A 令和7年までの受領額は累計で2億4、347万円、活用額1億3、343万円。多面的機能の確保を図る事業を推進。

Q 区域ごとの整備方針と優先順位を定める考えは。

A 地権者と合意形成した箇所から進めている。

Q 危険木の伐採・境界確認の支援制度の創設・拡充の考えは。



森林整備の今後

農地整備の今後は

Q 土地改良事業・受益者負担制度の運用は。

A 新たな運用基準を設け、土地改良事業の受益者分担金の軽減措置を図った。持続可能な農業基盤の整備に全力で取り組んでいきたい。

Q 受益者負担軽減や補助制度拡充、国・県に要望は。

A 国・県に働きかける。

防災訓練の評価、災害対応は

Q 要配慮者の受け入れ体制は。

A 社会福祉施設などと協定し、受け入れ体制構築を図っている。

Q 建設事業者確保と連携は。

A 緊急修繕体制の維持・確保に努めている。

A 林道以外の重要インフラ隣接森林への活用も示され、関係部局と協議し、新たな仕組みの検討を進めていく。

議会のうごき

8月	4日	全員協議会
	6日	県市議会議長会議員合同研修会
	7日	統合中学校にかかる特別委員会市内視察
	12日	峡北地域広域水道企業団議会全員協議会
	25日	議会運営委員会・全員協議会
		第1回臨時会本会議・広報編集委員会
9月	1日	定例会本会議（開会）
	2日	峡北地域広域水道企業団議会定例会
	3日	議会運営委員会
	1・7～10・14・17日	決算特別委員会
	9日	議会運営委員会
	11日	全員協議会
	15日	総務常任委員会
	16日	文教厚生常任委員会・統合中学校にかかる特別委員会（協議会）
	17日	経済環境常任委員会
	24日	定例会本会議（代表質問）
	25日	定例会本会議（一般質問）
	28日	議会運営委員会・本会議（議案審議、閉会）・全員協議会
		正副議長、正副議会運営委員長会議・広報編集委員会
10月	5日	議会運営委員会・統合中学校にかかる特別委員会行政視察研修
	8・14・20日	広報編集委員会
	9日	西部広域環境組合議会全員協議会
	13日	八ヶ岳定住自立圏3市町村議員交流会
	16日	峡北広域行政事務組合議会全員協議会
	20日	西部広域環境組合議会定例会
	29日	峡北広域行政事務組合議会定例会・後期高齢者医療広域連合全員協議会、定例会
	30日	県市議会議長会定期総会

★行政視察受け入れ5件

静岡県吉田町、長野県高森町、長野県松川町

栃木県下野市、三重県いなべ市

声のひろば

ことばのちから



浅川（あさかわ）　敬子（けいこ）

静岡出身の私が、夫の実家のある高根町に住み約半世紀が経ちました。高根に来た当時は、地区の住民のほとんどが地元の方でした。地域に馴染むのはとても大変でした。当時は方言が飛び交っていたので、方言を必死で覚え、方言で会話をしてコミュニケーションを取ることで地域に溶けこむことができ、多くの知人や友人に巡り合いました。それは、かけがえのない貴重な財産でもあります。

北杜市の抱えている課題も多々あると思いますが、豊かな自然を守り、そこに集う人々の生活向上維持を図り、市民が幸せに暮らせる住み良い北杜市になるよう願っています。

北杜市は私の希望



ドゥコー・マチュー

フランスから来日して10年、小淵沢の住民になって5年になります。現在は組長として地域の行事に参加し、今年から消防団に入りました。私の宝物は「久保の大和神楽」での活動です。

150年以上の伝統ある会ですが、初の外国人舞手として、温かく迎えてくれました。昨年は姉妹都市の韓国・抱川市へ行き、仲間とお神楽を披露できたことが最高の思い出です。

北杜市は一歩踏み出せば誰でも温かく包み込んでくれる、最高の場所です。移住する仲間がもっと増えてほしい！と思っています。これからも皆さんとの交流を大切に、元気な町づくりへ貢献したいです。

ポンコツでも生き心地のいい地域づくりを



大久保（おおくぼ）　香（かおり）

明野町生まれ、旧須玉商業卒。「手に職をつけ自立して我が子を守れる強さを」と上京し、生き抜いてきました。

コロナ禍で帰郷後、発達特性のある子を育てる中で出会ったのは、理想と違うポンコツな自分と、生きづらさを抱える子どもたちです。「オトナってもっとカッコいいと思ってた」なら、私たちがなればいい。

傷ついた過去も泥臭い子育ても、子どもに寄り添う力になります。孤立しがちなママや子の「相棒」を増やし、この街を未来にワクワクできる社会へ。

ポンコツでもいい。一緒に頼りになるカッコいいオトナになりませんか。

選ばれる田舎づくりを目指して



白倉（しらくら）　繁（しげる）

高根町で育ち、不動産業を営みながら子育て真っ最中。北杜市は移住者に人気の一方、交通や行政サービスは弱く、中心地もない広大な地域です。

私はお客様に「便利さを期待するのは難しい」とお伝えしますが、それでもこの不便さに価値を見いだす方が多くいらっしゃることに感謝しています。

北杜市が選ばれる田舎になるために必要なのは、都会的な利便性を高めることではなく、住民が工夫して暮らせる自由度の高さや、自助努力を後押しする環境づくりです。この土地ならではの魅力と価値を高める、現場視点に立った自由な街づくりに期待しています。

北杜市ウォッチング



北杜市議会だより

読みやすさにこだわって リニューアルしました

01 表紙デザインを刷新

02 文字サイズを拡大

03 議案を一覧表で掲載

04 注目議案をトピックスで紹介

- これまでに行った市民アンケートでは「読みづらい」、「文字が多くて手に取る気にならない」などの意見をいただいていました。
- 市民の皆さまに、議会の内容をより分かりやすく、まずは手に取り、読んでもらえる紙面を目指し、リニューアルを行いました。お気づきの点などありましたら、感想をお寄せください。

議会をもっと身近に

右のQRコードを読み込むと、議会中継（録画配信）や会議録検索システムへつながります。より詳しい定例会の様子などをご覧いただく際にご利用ください。

中継配信システム

会議録検索システム

第4回定例会（12月）の予定

12 / 8 (火)	本会議 開会	17 (木)	経済環境常任委員会
9 (水)	予備日	21 (月)	予備日
11 (金)	予備日	22 (火)	本会議 代表質問
14 (月)	予備日	24 (木)	本会議 一般質問
15 (火)	総務常任委員会	25 (金)	本会議 閉会
16 (水)	文教厚生常任委員会		

※日程を変更する場合がありますので市ホームページでご確認ください。
※傍聴はどなたでもできます。本会議および特別委員会は議場に、常任委員会は全員協議会室（本庁西館2階）にお越しください。
※令和8年第4回定例会（12月）審査分の請願・要望などの提出期限は11月30日を予定しています。

ほくとのぎかい88号
〒408-0188 山梨県北杜市須玉町大豆生田961-1 URL:https://www.city.hokuto.yamanashi.jp/
TEL.0551-42-1303 FAX.0551-42-1128 E-mail:info@city.hokuto.yamanashi.jp
発行：山梨県北杜市議会 編集：議会広報編集委員会 委員長：秋山真一 副委員長：山﨑君江、内田俊彦
発行人：議長 大芝正和 委員：輿石知宏、飛矢﨑雅也、髙見澤伸光、中山喜夫、神田正人、志村清